

障害をもつ子ども性の性に関する 問題をみんなで考え支援する



2022年11月26日（土）

12時30分～15時

@黒崎市民会館

ホワイトハンズ 坂爪真吾



WHITE HANDS

本日の講演のテーマ

障がいのある子どもの性の

- ①歴史（これまで）
- ②現状（今、何が起きているのか）
- ③未来（これからの課題）を考える

自己紹介

セックスと障害者

坂爪真吾
SAKATSUME, Shingo



パンツを脱いじゃう
子どもたち

発達と放課後の性

坂爪真吾

一般社団法人ホワイトハズ代表理事

福祉、教育現場で頻発する
性のトラブル!



坂爪 真吾
(さかつめ・しんご)

1981年新潟市生まれ。
東京大学文学部卒。

2008年に「障がい者の性」問題の
解決を目指す非営利組織
ホワイトハズを設立。

Twitter @whitehands_jp

ホワイトハンズのミッション



WHITE HANDS

新しい
「性の公共」を
つくる

新しい「性の公共」とは？

1. 性の問題を、
「個人（私だけ）の問題」ではなく
「社会（みんな）の問題」と考える
2. 公の場で、社会のみんなの力で
問題を解決する仕組みをつくる

私の下半身は、

不自由ですが
元気です。

「障がい者の性」に、光を。
WHITE HANDS®

活動領域①

性の世界から
疎外されている、
障がいのある
人たちへの
性的支援

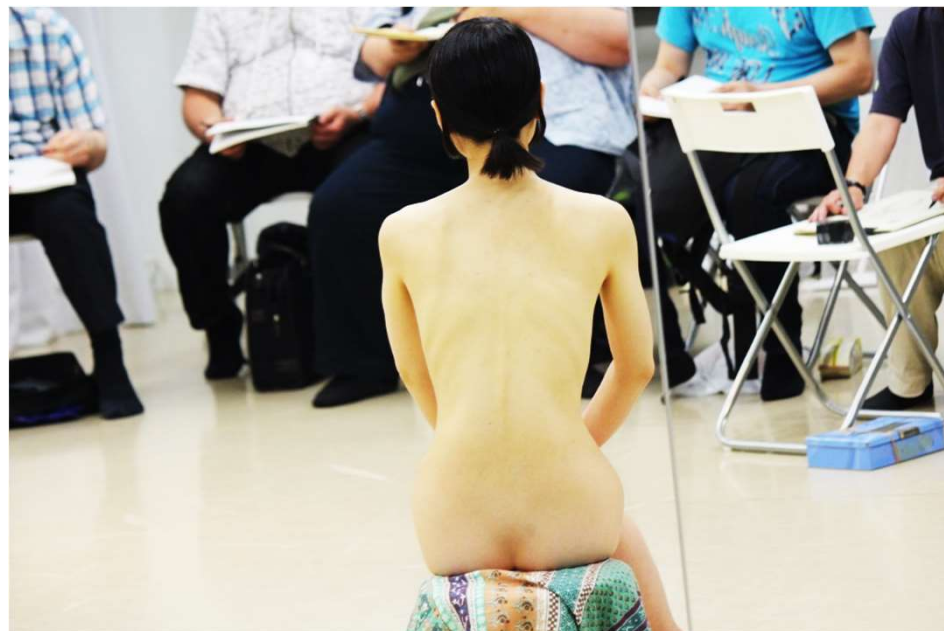
射精介助（2008年～）



「障がい者の性」基礎研修（2010年～）



ららあーと (2010年～)



**年齢・性別・経験・障がいの有無を問わず、
どなたでも参加できるバリアフリーのヌードデッサン会**

活動領域②

性の世界で不当な
差別や不利益を
被っている、
性風俗の世界で
働く人への支援



風テラス (2015年～)

風俗店で働く女性の無料生活・法律相談

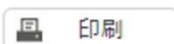
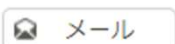
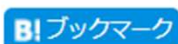
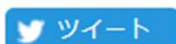


弁護士とソーシャルワーカーの
チームで相談を受ける

性風俗から抜け出したい 身体障害・知的障害・うつと生きる34歳

有料会員記事 参院選2022

高室杏子 2022年7月9日 15時30分



[list](#)



自身の身体障害者手帳を持つしほさん（仮名）
=2022年6月29日、東京都内、高室杏子撮影（写真の一部を加工しています）



障害とともに生きることに特別な感覚はなかった。34歳のしほさん（仮名）は、幼い頃の脳性まひで足に障害が残り、歩幅は小さい。一つ上の兄と五つ下の妹には知的障害がある。

でも、こんなに「生きづらさ」を抱えた人生になるとは思っていなかった。

北海道で生まれ育った。父はタクシー運転手、母は新聞配達をしていた。

小学生のとき、新築の家に引っ越した。貧しい家庭という認識はなかった。

でも、親は進学した定時制高校の学費は払ったものの、通学の定期代や携帯電話代は自分で出すようにと言った。

両親の仲が良いとは言えず、目の前で繰

「障がい者の性」 基礎講義



障がいのある人たちの
性を理解するための

4つのポイントを
解説

第1問

Q : 障がい者の人口は？

- ・ 身体障がい児者 () 万人
- ・ 知的障がい児者 () 万人
- ・ 精神障がい者 () 万人

内閣府『障害者白書』令和2年版より引用

解答

A : 障がい者の人口・・・約**964**万人

- ・ 身体障がい児者 約 **436** 万人
- ・ 知的障がい児者 約 **109** 万人
- ・ 精神障がい者 約 **413** 万人

⇒日本の全人口の**7.6**% (神奈川県と同規模)

参考 : LGBT (約900万人)、要介護者等 (約620万人)
認知症 (約500万人)

第2問

Q：在宅の障がい者の割合は？

- ・ 身体障がい児者 () %
- ・ 知的障がい児者 () %
- ・ 精神障がい者 () %

平成28年度版 障害者白書より

解答

A：在宅の障がい者の割合

- ・ 身体障がい児者 **98** %
- ・ 知的障がい児者 **83** %
- ・ 精神障がい者 **92** %

⇒障がい児者の大半は、地域で暮らしている

参考：居宅サービス＋地域密着型サービスを受けている
要介護者の割合 = **81.5** %

(平成28年版高齢社会白書)

第3問

Q：配偶者のいる人の割合は？

- ・ 身体障がい者 () %
- ・ 知的障がい者 () %
- ・ 精神障がい者 () %

解答

A : 配偶者のいる人の割合

- ・ 身体障がい者 60.2 %
- ・ 知的障がい者 2.3 %
- ・ 精神障がい者 34.6 %

過去の実践・研究



**知的障がいのある人の性・結婚の支援は
40年以上前から実践・研究の蓄積がある**

南高愛隣会・結婚推進室「ぶ〜け」



**知的障がいのある人の恋愛・婚活支援から、
結婚生活・子育ての支援までを行う**

必要なのは・・・

社会資源

**(地域の中で利用できる制度、機関、サービス、
人材、ネットワーク、資金、技術、知識など)**

理解のためのポイント①

「障がいのある人の性」問題は、

- × **個人の問題** ではなく、
- **社会の問題** である！

障がいの社会モデル

ある人が「障がい者」であるか否かは、
その人の身体や精神の状態だけで
決まるのではなく、私たちの生きている
社会のあり方によって決まる。

自閉症 = 社会性の障がい



「自閉症」
「自閉症スペクトラム（障害）」
「高機能自閉症」などは、
医学的概念であると同時に
社会的な概念である

知的障がい者の性 = 福祉の原点

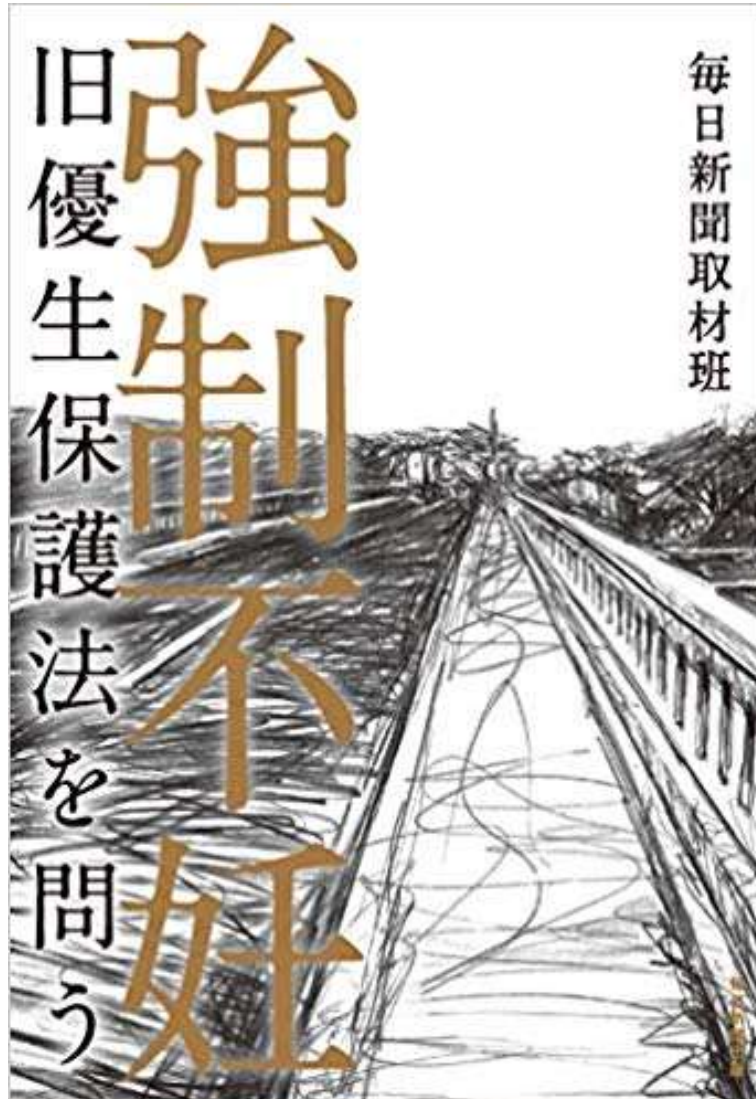


石井亮一 (1867-1937)

日本における知的障がい者福祉・教育の創始者。

震災孤児のちえおくれの女児が人身売買の業者によって売春をさせられている現状に憤りを感じて、知的障がい者教育・福祉制度の確立に尽力

障がい者の去勢・子宮摘出問題



「月経時の介助が困難だから」
「結婚も、親になるのも無理だから」
「性被害による妊娠の回避」等の理由で、本人の同意の有無にかかわらず、家族や施設が手術を受けさせた時代があった。

⇒1996年の優生保護法改正までに、約1万6500人の不妊手術が行われた

障がい者の性 = 運動の原点

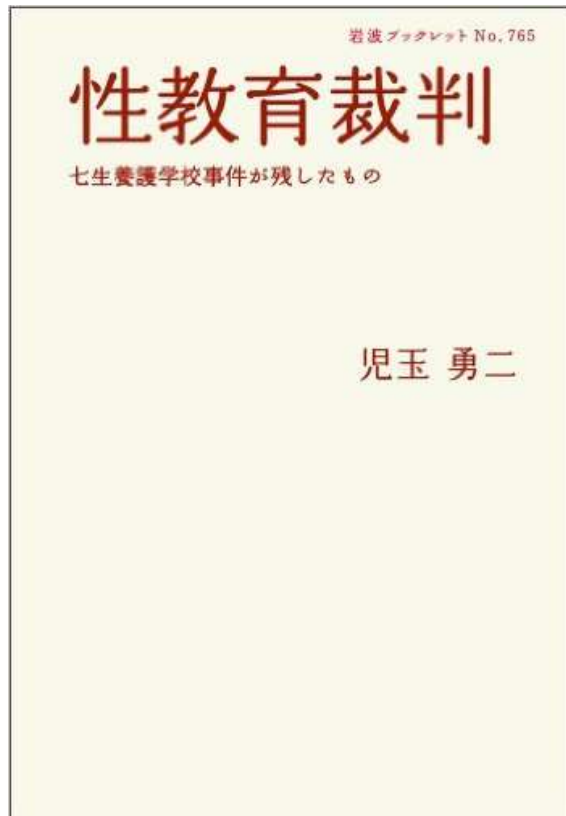


青い芝の会

1960～70年代の障がい者運動を牽引した団体。

障がい者の自立闘争の一つの焦点として、親や施設管理者によって奪われた「性」の獲得を唱えた。

知的障がい児の性教育をめぐる事件



★七生養護学校事件（2003年）

知的障害を持つ児童に対して行われていた性教育の授業内容が過激・不適切であるとして、東京都教育委員会が当時の校長及び教職員に対し嚴重注意処分を行う。

⇒訴訟・社会問題に発展

知的障がいのある人の性 = 思想の原点

ノーマライゼーション normalization

障がい者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿である、とする考え方。またそれに向けた運動や施策なども含まれる。

ノーマライゼーションの目的

ノーマライゼーションの理念を取り入れたスウェーデンにおける脱施設化の本来の目的は、

知的障がい者に、ノーマルな

結婚 生活、および

子ども を持つことを保障することであった。

障害のある人の性 = 社会の問題

個人の問題ではなく、社会の問題として考えないと、マイノリティの性の問題は理解も解決もできない！

× 個人で丸抱え、行政に丸投げ

○ 社会のみんなの力・智恵を結集する

理解のためのポイント②

「性のケア」「性的支援」とは、

- × **性欲の処理・発散** ではなく、
- () のケア である！

理解のためのポイント②

「性のケア」「性的支援」とは、

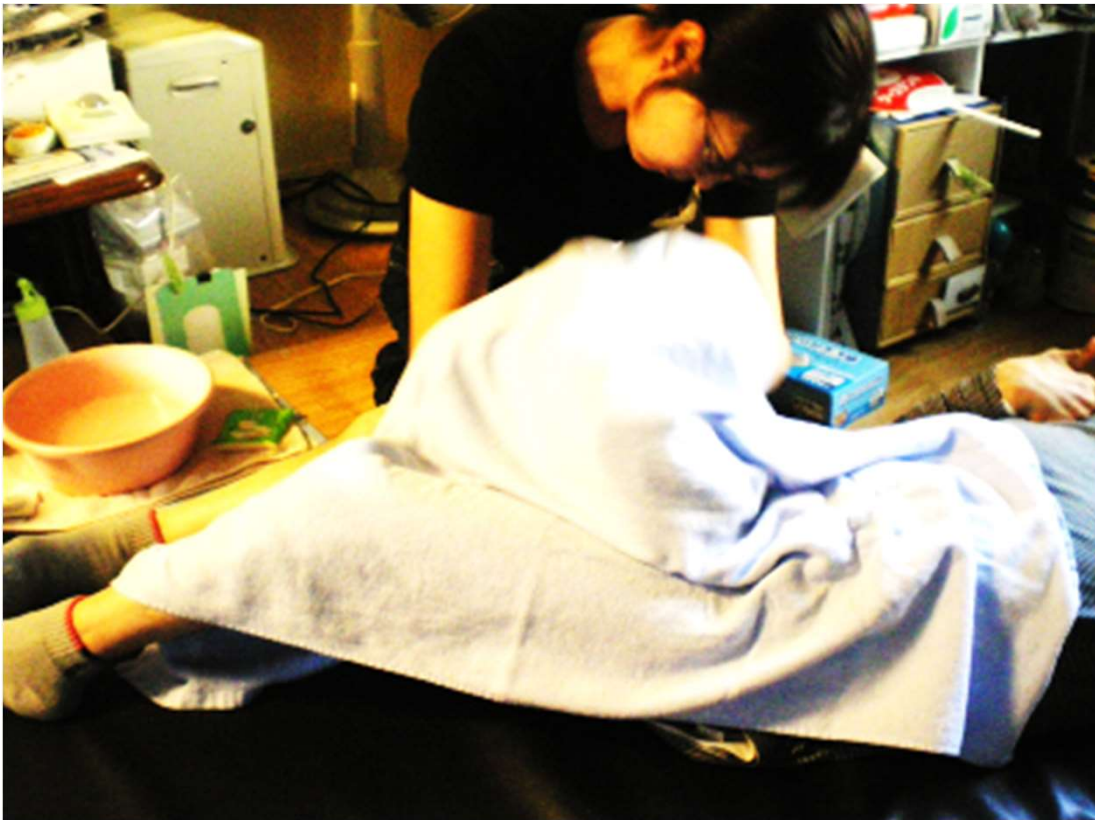
- × **性欲の処理・発散** ではなく、
- **QOLのケア** である！

「障がい者の性」問題を解決するために



射精介助

ケアの内容



ケアスタッフの手による
物理的な刺激で、
射精に導きます。

射精に至るまでの
平均所要時間は
約5～10分程度

誰のためのケアサービス？

手足の麻痺や拘縮のために、
自力で射精をすることのできない
男性重度身体障がい者

- ・ 脳性まひ
- ・ 神経難病（ALS、SCD等）
- ・ パーキンソン病
- ・ 筋ジストロフィー など



何のためのケアサービス？

- × 恋人や妻のいない男性の
「性欲の処理」
- 「性に関する尊厳と自立」を
守るためのケアサービス！

利用者の声（54歳・脳性まひ）

<利用前 Before>

- ・ **加齢による二次障害**で、自力での射精が困難に
- ・ 同居の家族に話すのに、**勇気**がいる

<利用後 After>

- ・ リラックスして、**会話**がとても弾んだ
- ・ 男子としての**自信**、人間としての**尊厳**、**健全な思考**を取り戻すことができた

男性機能と尊厳の関係

脊髄損傷や、統合失調症による
勃起障害（ED）や射精障害

⇒ **QOL（生活の質）の低下**
男性としての自信の喪失
（生きていてもしょうがない、死にたい）

ホワイトハンズの法則

射精介助の利用率は、
本人の（ ）の
活発さに比例する

ホワイトハンズの法則

射精介助の利用率は、本人の
社会参加の活発さに比例する

⇒自分の性と向き合える人は、
他人や社会ともきちん向き合える
(性は、**自立&社会参加**の原動力！)

社会的自立の条件

性的な自立 =
社会的な自立

性と疎外

障がいのある人の場合、

男性は、性「**から**」疎外される

(例) ネット動画、中年童貞、ひきこもり

女性は、性「**へと**」疎外される

(例) 出会い系、性風俗、性被害

第4問

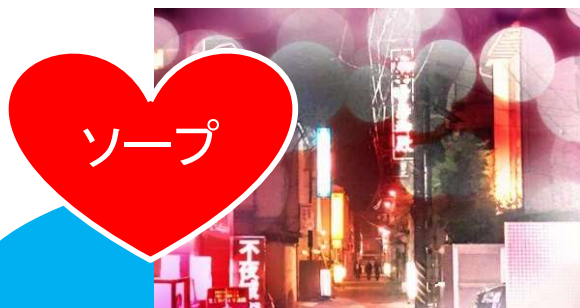
**本日現在、全国の
風俗店で働いている
風俗嬢の合計人数は？**

正解

430,515人

(2022年11月26日現在)

新潟市の夜業界全体図



ソープ



クラブ



ギャラ
飲み

古町(昭和新道)



援助交際



キャバ



宴会
コンパ

新潟駅前

Sugar Daddy

♥ paters



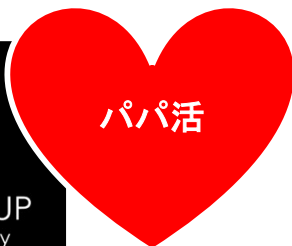
メンエス



デリヘル



鳥屋野湯

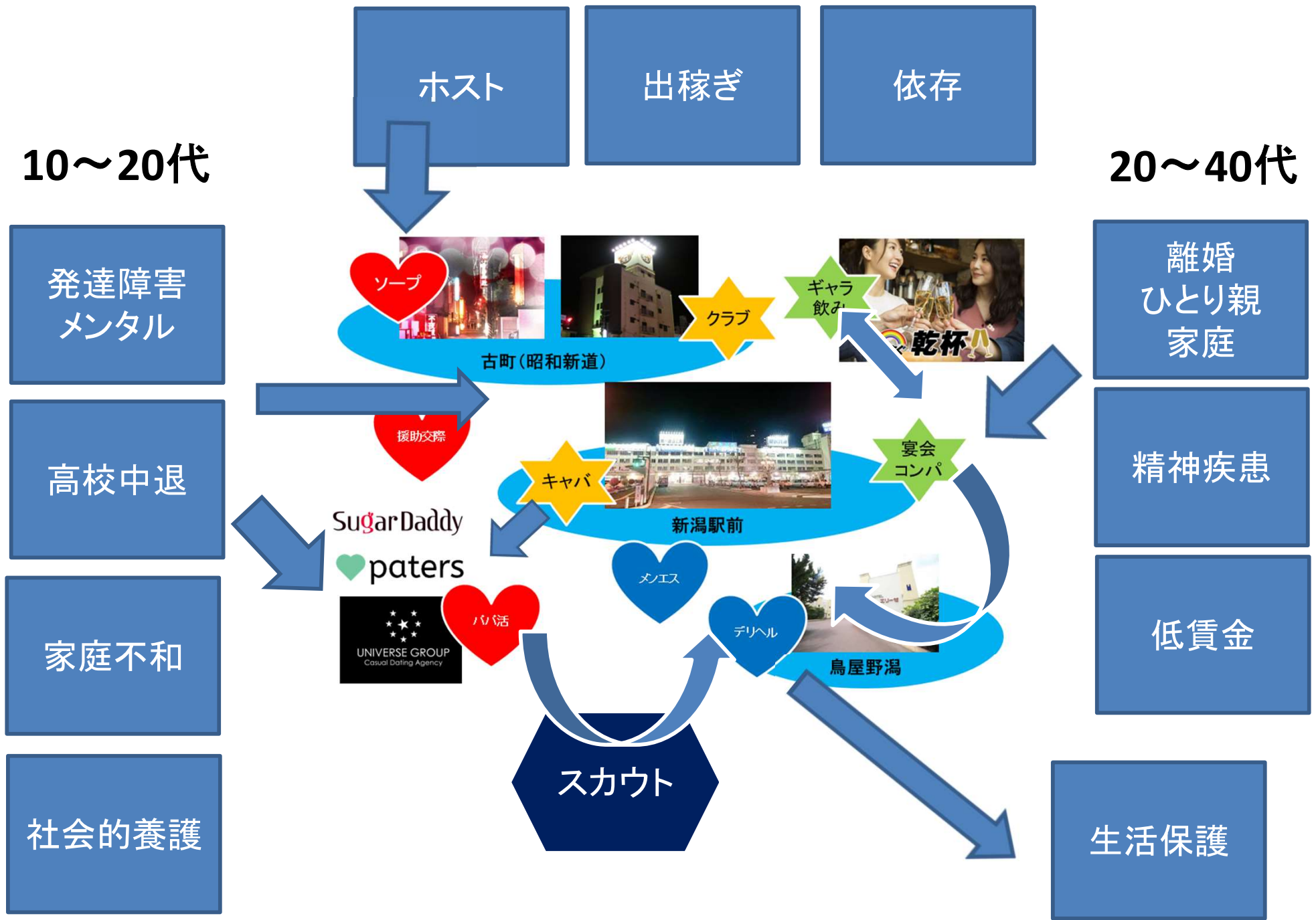


パパ活



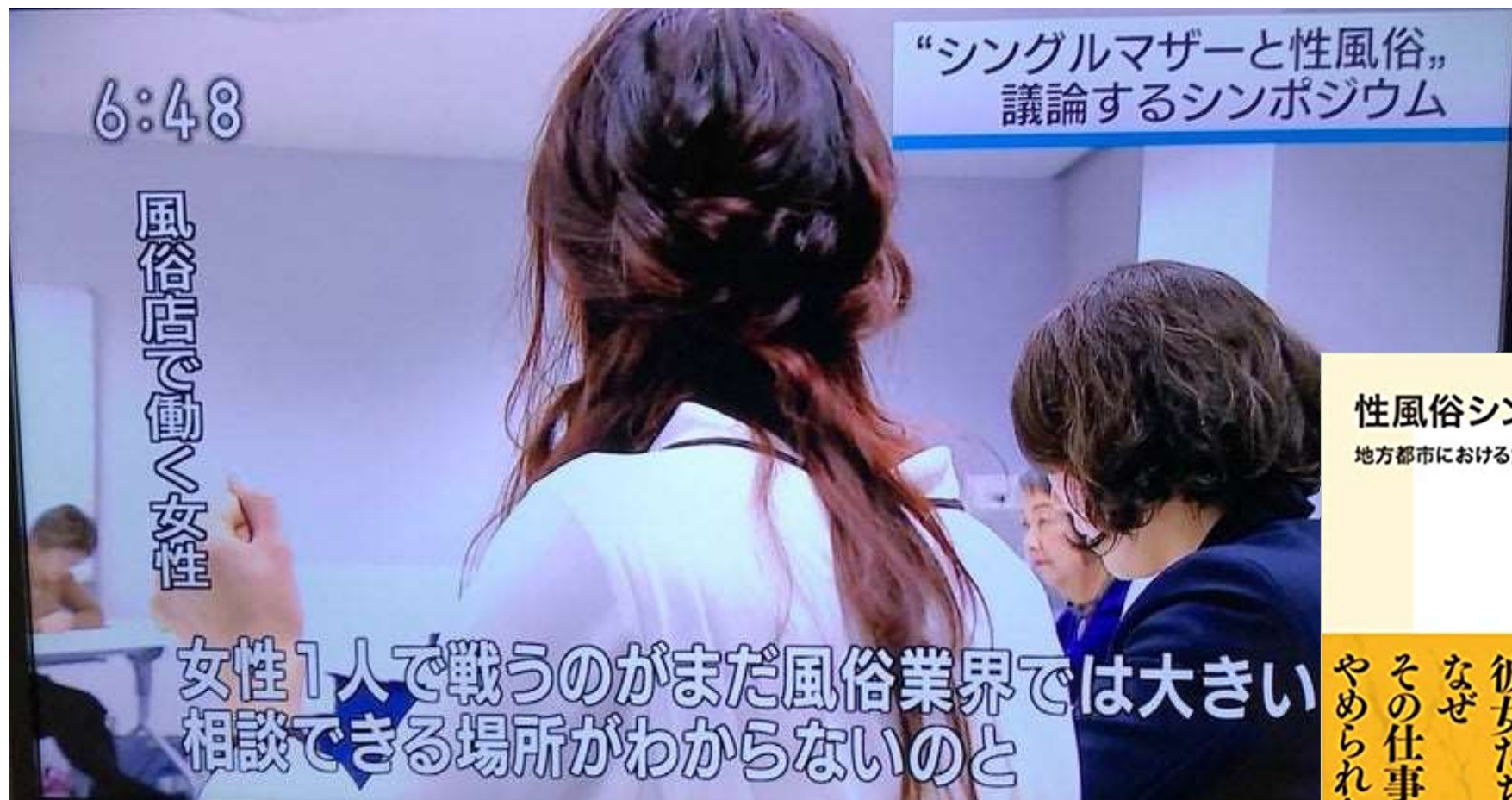
UNIVERSE GROUP
Casual Dating Agency

新潟市の夜業界全体図（福祉視点）

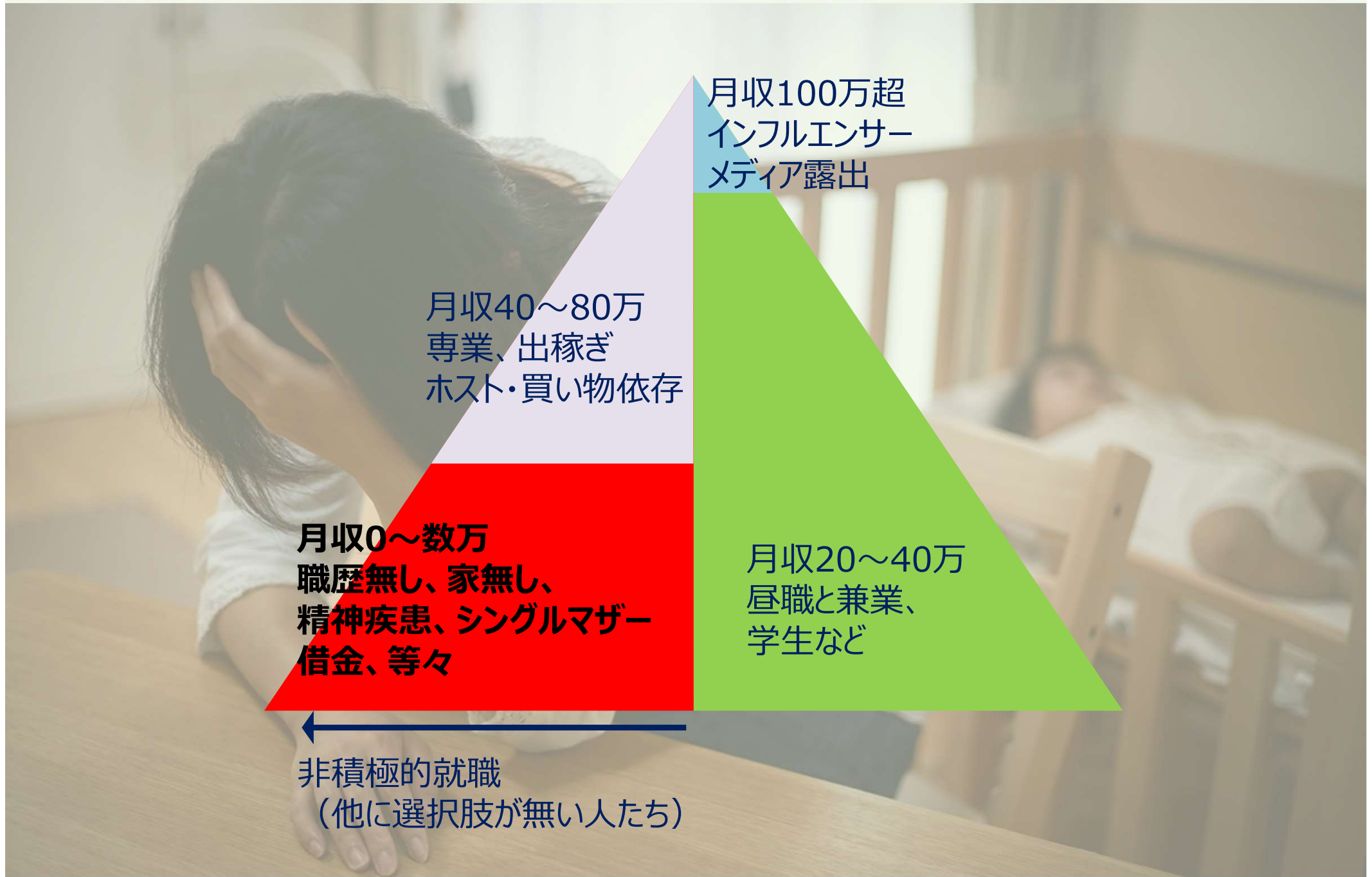


新潟市における女性と子どもの貧困

2020年1月11日@ユニゾンプラザ



風テラスの支援層



月収100万超
インフルエンサー
メディア露出

月収40～80万
専業、出稼ぎ
ホスト・買い物依存

月収0～数万
職歴無し、家無し、
精神疾患、シングルマザー
借金、等々

月収20～40万
昼職と兼業、
学生など

←
非積極的就職
(他に選択肢が無い人たち)

なぜ福祉を利用しないのか

(例) 障がいを抱えている女性

- **朝決まった時間に起きられない**
- **薬の副作用で思うように身体が働かない**
- **決められた時間に出社・勤務できない**
- **家計の管理や貯蓄がうまくできない**
- **買い物やギャンブルで散財してしまう**

なぜ福祉を利用しないのか

そのため、自分の体調や気分に合わせて勤務日時を決めることができ、遅刻や当日欠勤をしてもクビにならない**完全自由出勤** かつ **現金日払い** の仕事に対するニーズが高い。

福祉的就労の現状

● **就労継続支援 B 型事業所**（一般企業に就職が困難な人に対して雇用契約を結ばずに働く場を提供する事業所）

月額平均工賃：16,369円　時給換算で**223**円

● **雇用契約を結ぶ A 型事業所**

月額平均工賃：78,975円　時給換算で**887**円

（令和元年度の厚生労働省の統計）

障がいのある女性の就労の現実

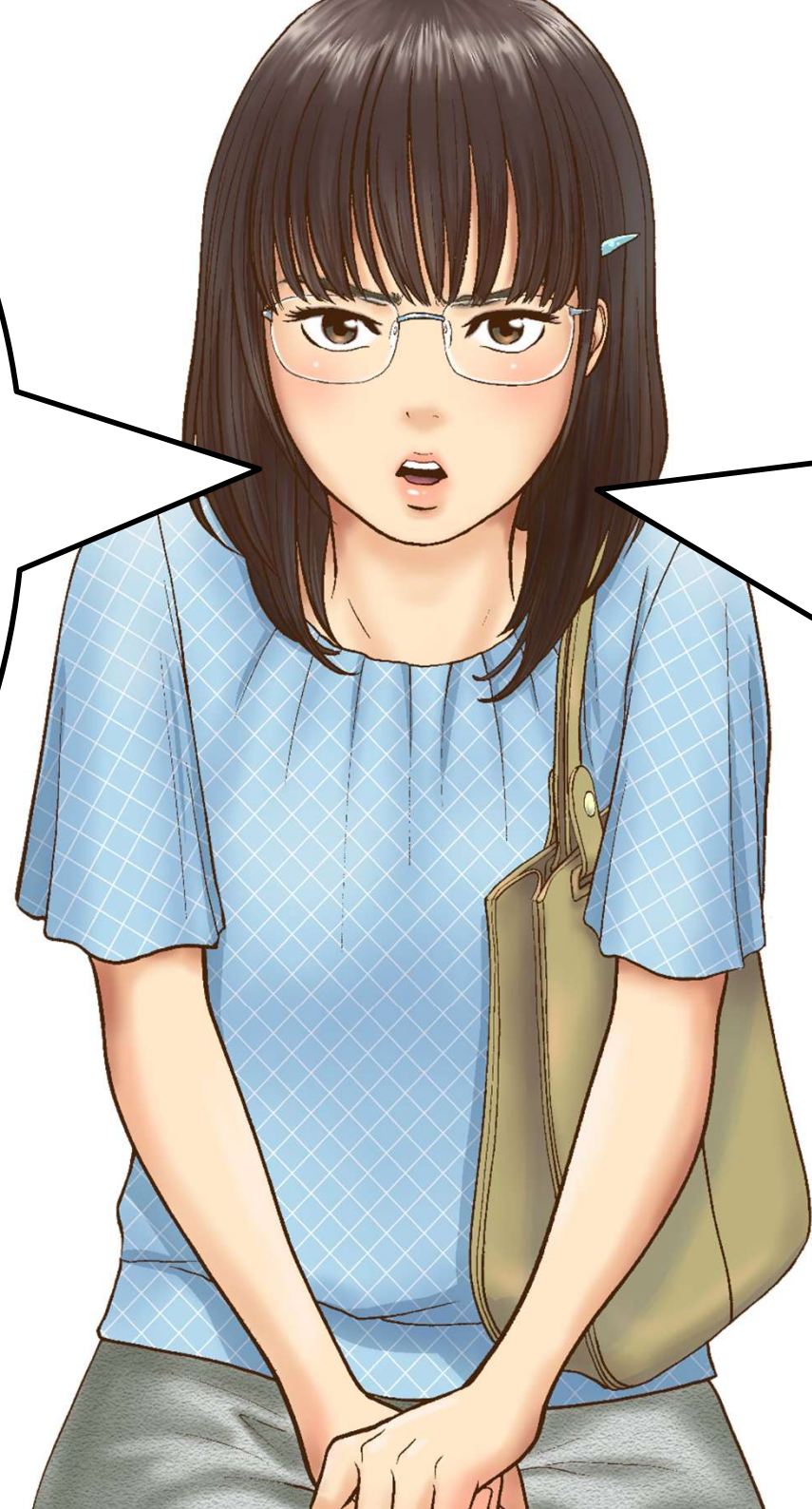
パートや福祉の世界で働くことを
選んだ時点で、

どうしても **最低賃金以下**

もしくは最低賃金ギリギリの
仕事（生活）になってしまう。

「唯一の選択肢」としての性風俗

障がいのために一般就労が
困難な女性、そして福祉的就労では
満たされない経済的ニーズを抱えた女性が
最低賃金以上のお金を稼ぐことのできる
ほぼ唯一の職場が性風俗になっている



生活保護は
絶対に嫌です

私はデリヘルで
働きます

弁護士と福祉職の協働



福祉的アプローチで 取り組む弁護士実務

依頼者のための債務整理と生活再建



弁護士とソーシャルワーカーの協働を考える会
編著

債務整理がゴールじゃない。

<司法と福祉の協働>という視点から、
依頼者の経済的破綻に潜む課題を解決し、今後の生活の再建を図る。
債務整理事件の弁護士実務を1歩深めるための指南書。

第一法規

支援者のジレンマ

- ・ 風俗で働く・稼ぐことで**自尊感情**が高まる
⇒一人前の大人として、あるいは性的に肯定される場が、家庭にも地域にもない
- ・ 風俗で働く・稼ぐことが**社会的自立**になる
- ・ 福祉では彼女たちの精神的・経済的ニーズを満たせない
⇒両極端な選択肢しかないことが問題

性的自立 = 社会的自立

1. 障がいのある人の社会的自立のためには、性的自立が必要不可欠。
 - ・ 自分の性を肯定できること（性教育）
 - ・ 他者から性的に肯定されること（恋愛等）
2. しかし、性的自立を支えるための社会資源はまだまだ少ない

理解のためのポイント③

**「障がい者の性」問題は、
その大半が**

**（ ） あるいは
（ ） の問題である！**

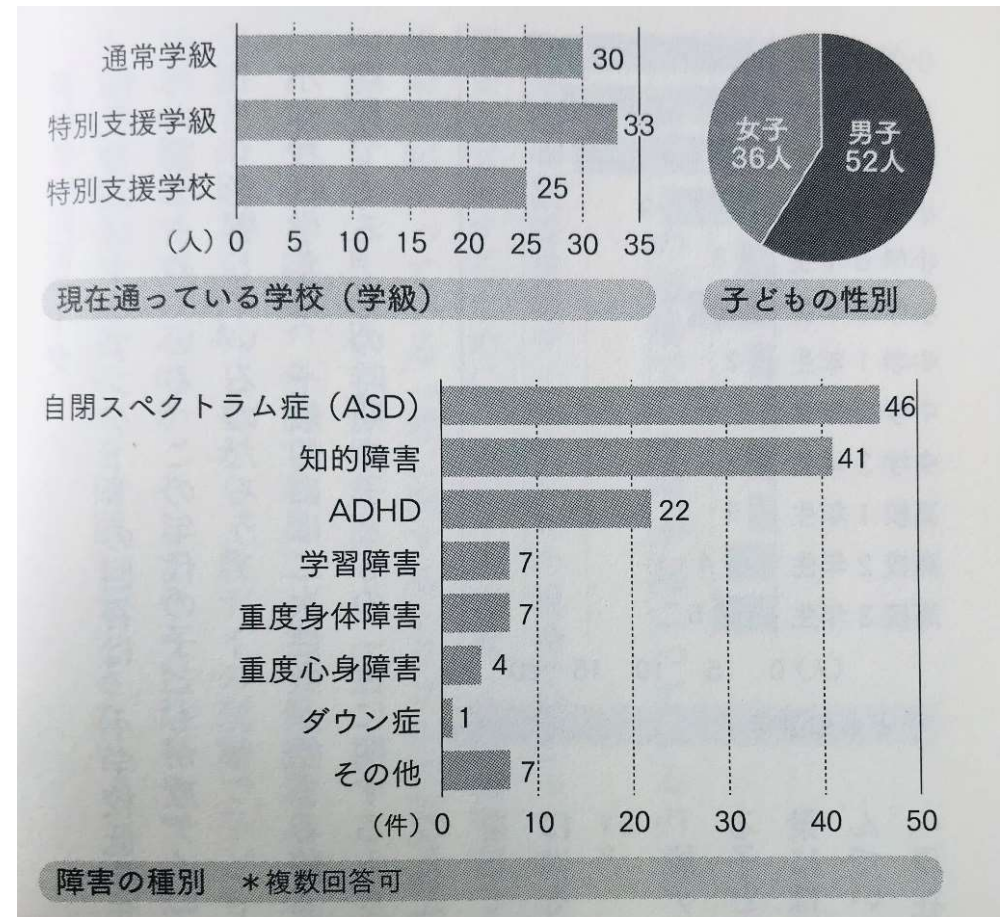
放デイでのアンケート調査



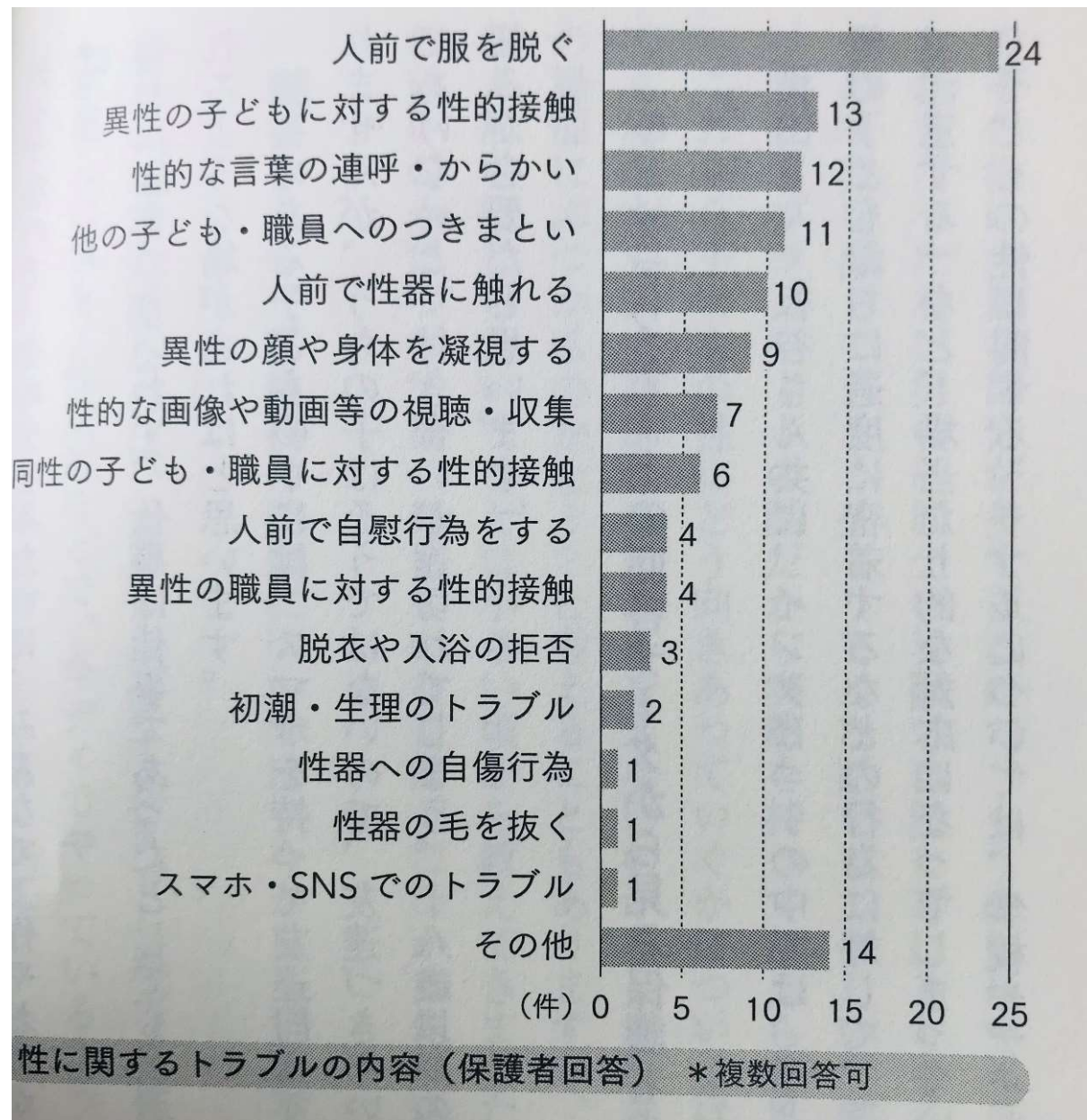
放課後等デイサービスの職員、
及び利用者である
子どもの保護者を対象にして、
「性に関するトラブル」についての
ウェブアンケートを実施。
(2021年2月～9月)

⇒保護者88名・職員21名から
回答が寄せられた

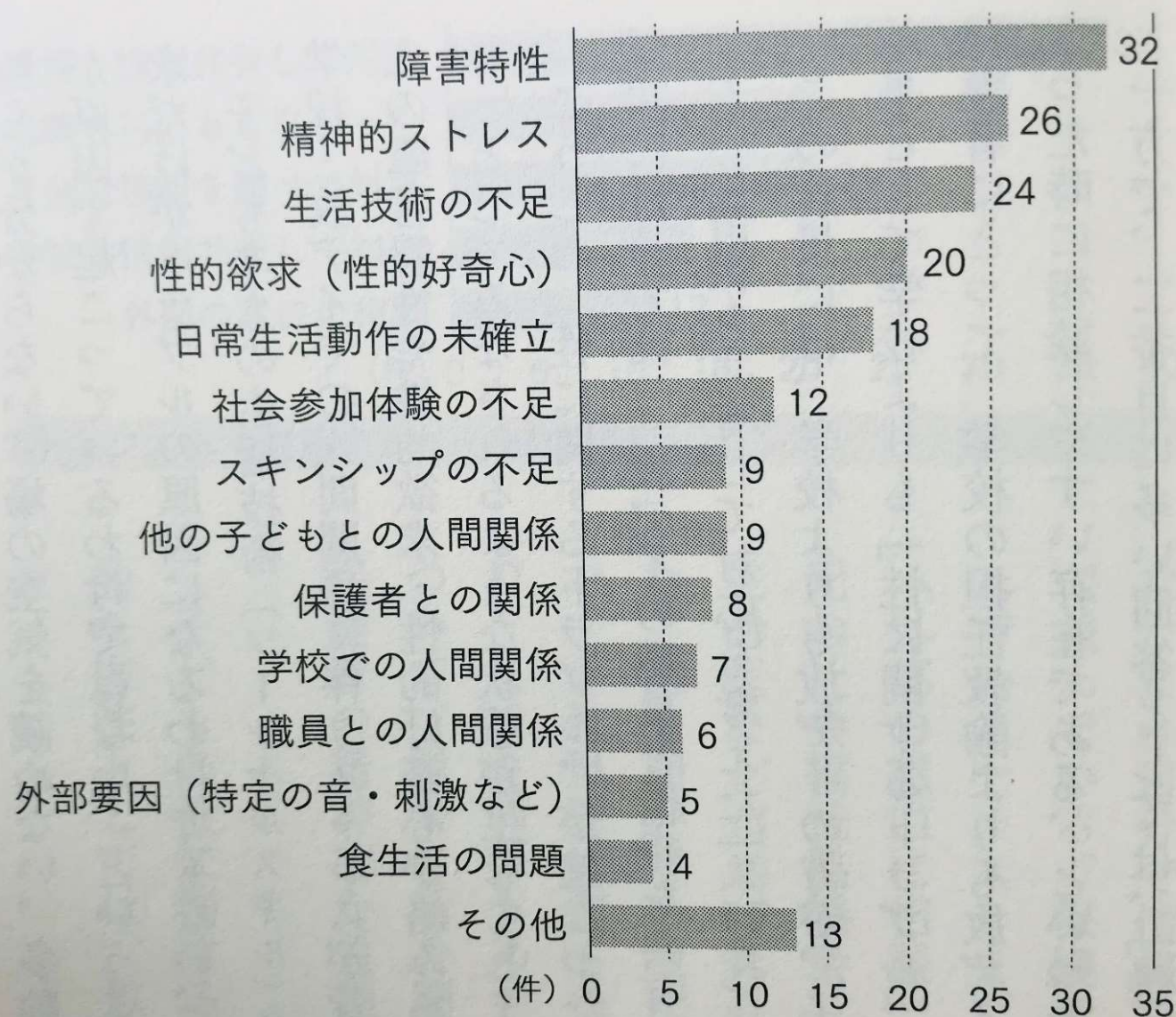
放デイでのアンケート調査



保護者の回答①：トラブルの内容

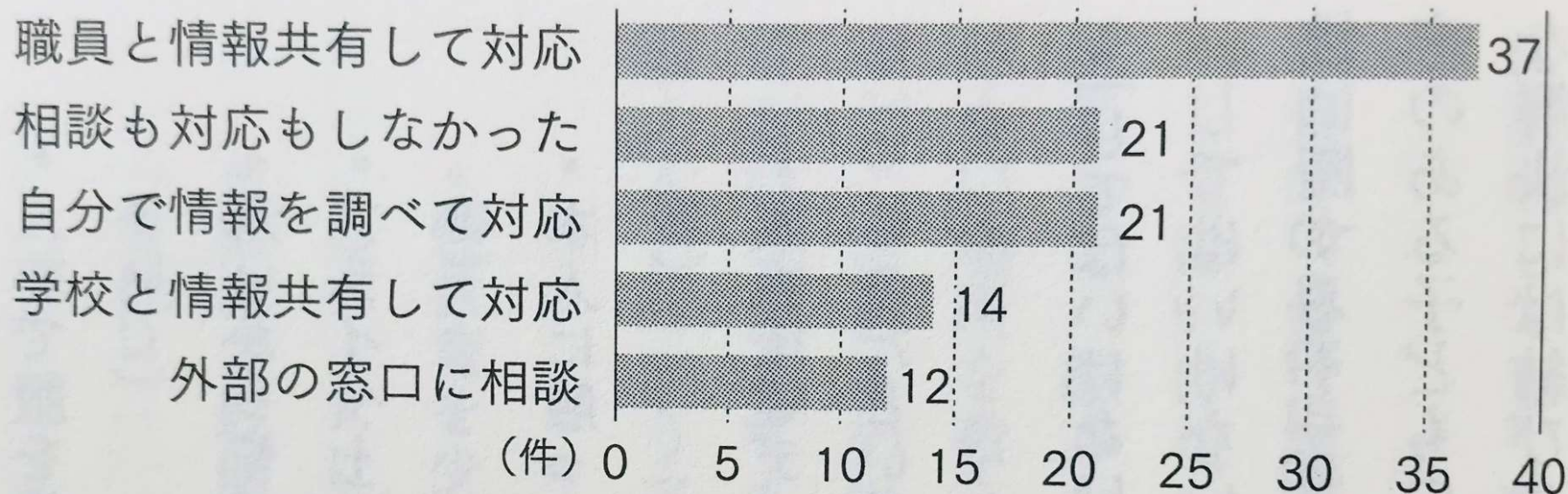


保護者の回答②：トラブルの背景



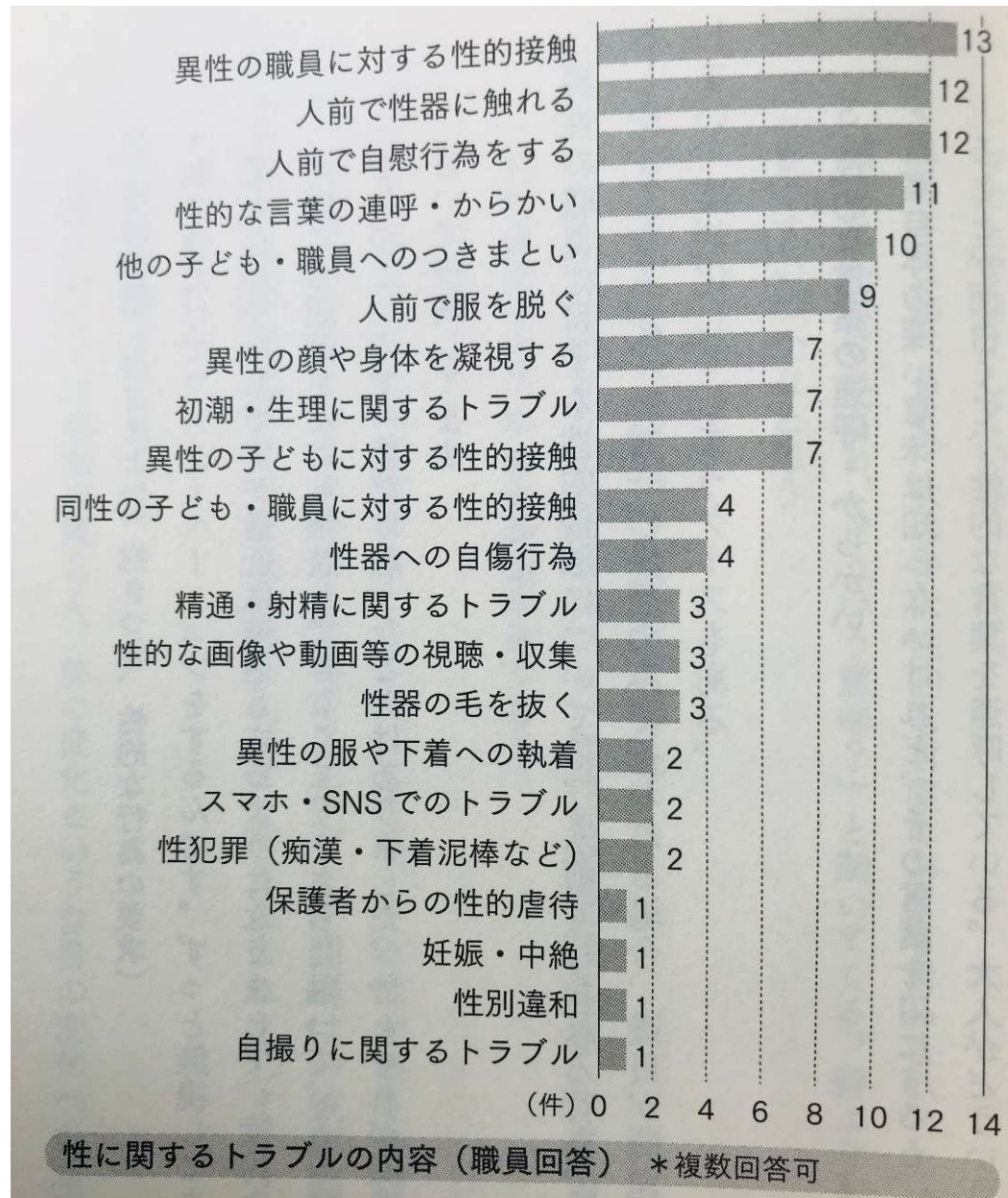
トラブルの背景にあるもの (保護者回答) *複数回答可

保護者の回答③：トラブルへの対応

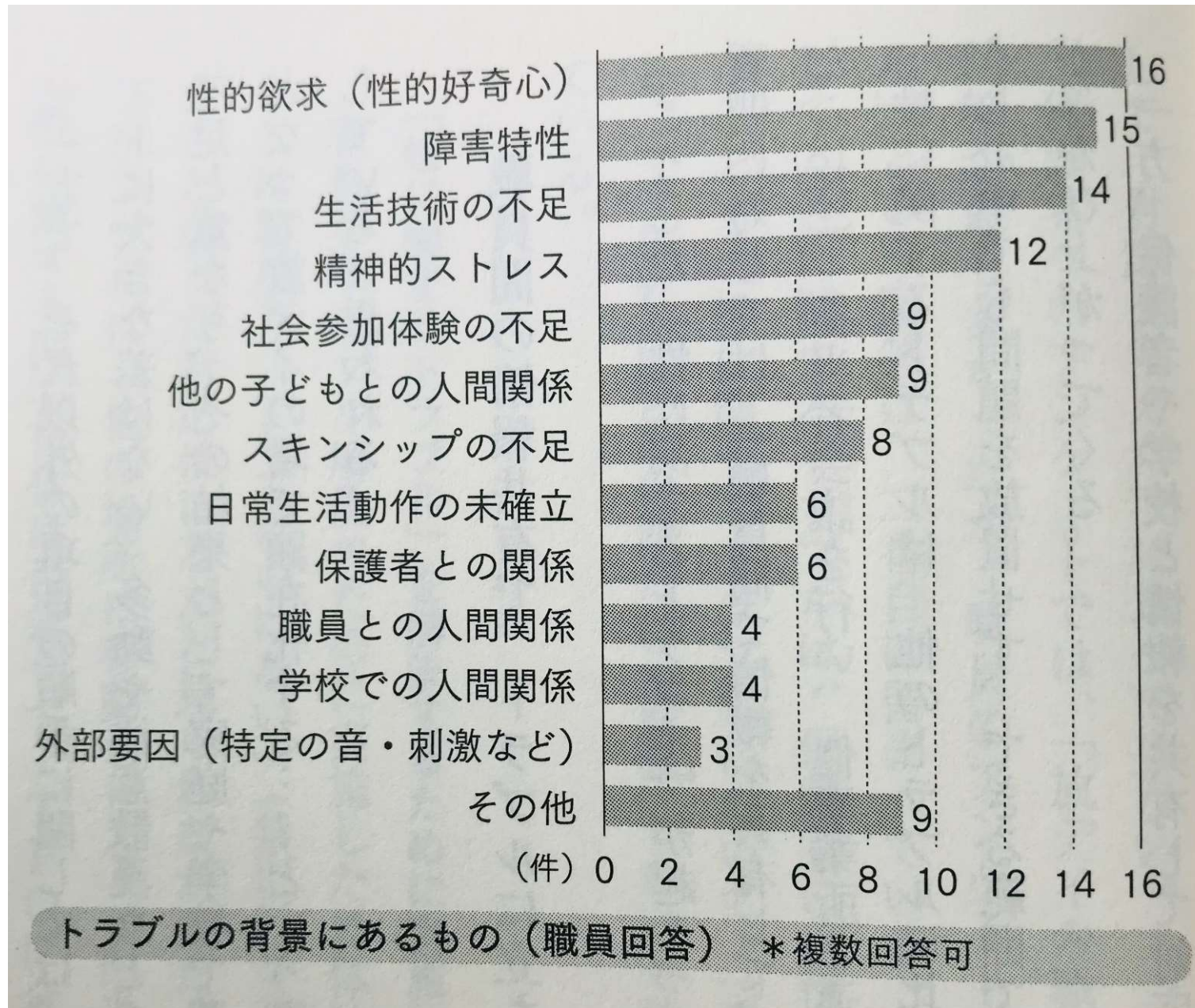


トラブルへの対応方法 *複数回答可

職員の回答①：トラブルの内容



職員の回答②：トラブルの背景

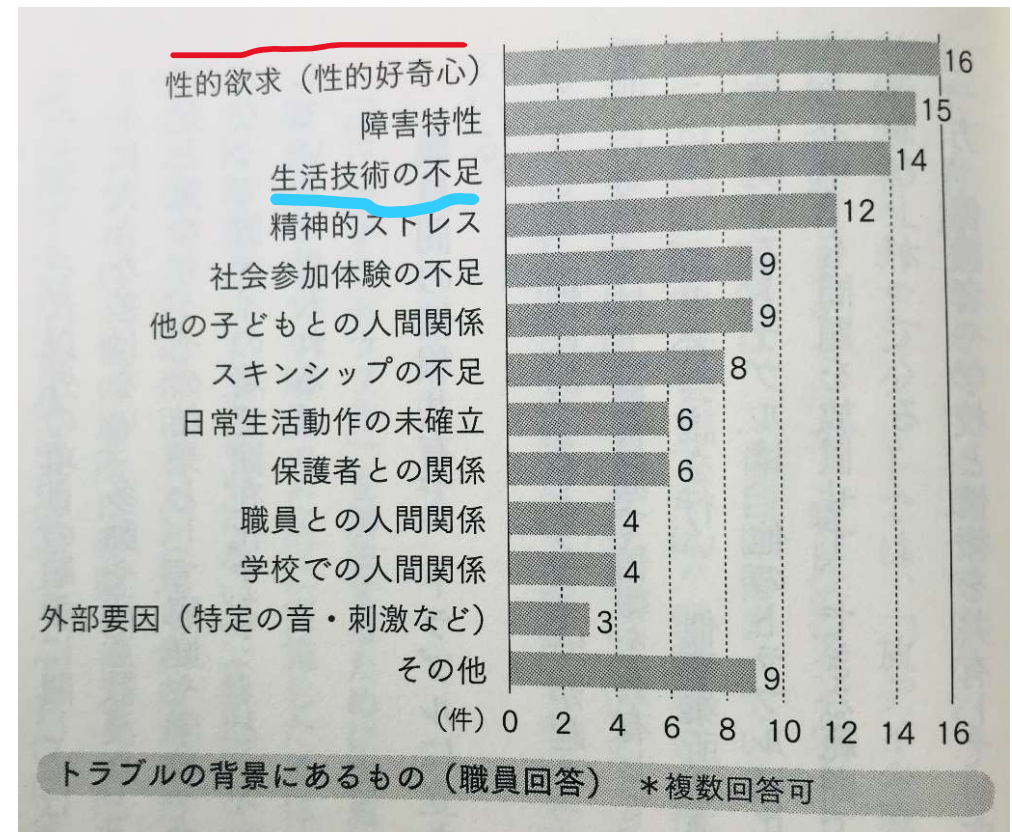


回答比較（トラブルの背景）

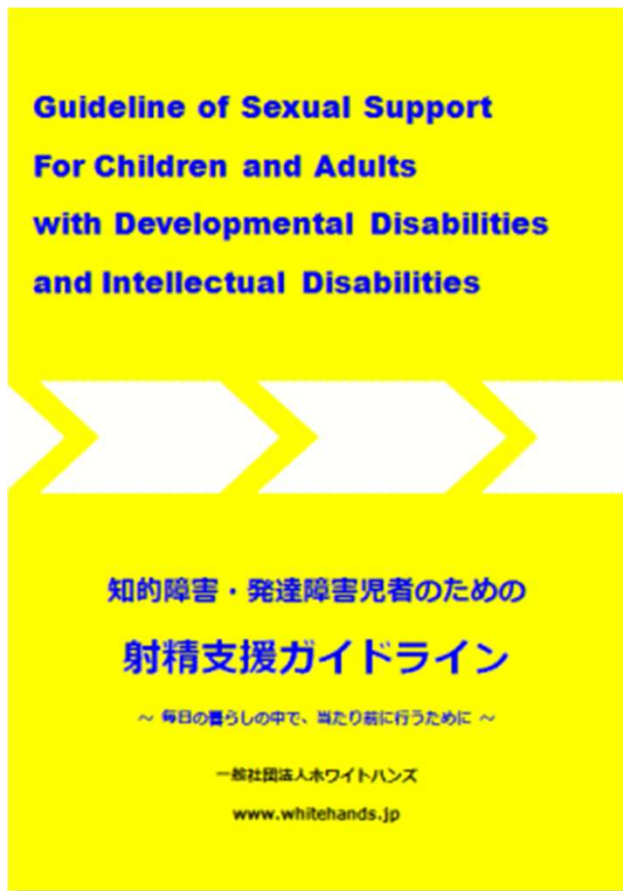
保護者



職員



障がい児の「性的問題行動」の背景



- 父親の不在（離婚、別居、無関心）
- ひとり親家庭
- 家庭・学校・地域での居場所の無さ
- 過度の母子密着、祖母の過干渉
- 障がいに対する周囲の無理解、無関心
- 性教育の不備・欠如
- 環境変化に伴う不安やストレス
- 経済的貧困、食生活の乱れ
- . . . etc.

⇒ 性的欲求だけが原因ではない！

トラブルの解決方法

A：「治す」「教える」

⇒治療教育アプローチ（ABA、TEACCH、感覚統合療法、SST、家族療法、投薬治療など）

B：「補う」

⇒機能代替アプローチ（ICT活用など）

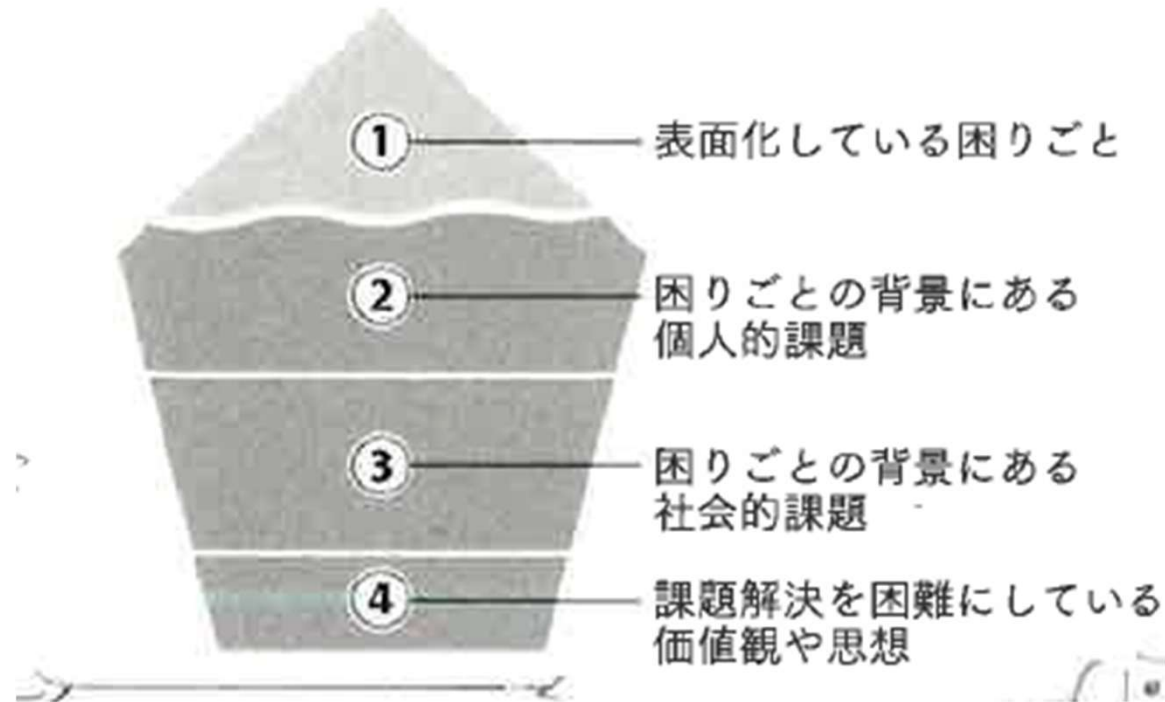
C：「社会を変える」

⇒社会啓発アプローチ（世界自閉症啓発デーなど）

障がい者の生きづらさは

性という**仮面**を
かぶって現れる

障害児者の性・冰山モデル



- ① 性器いじり、脱衣、自慰行為、性的逸脱行動など
- ② 生活習慣や対人関係の作法が身につけていない、親子関係、二次障害など
- ③ 知識や作法を学ぶ場がない、発達障害者への社会的支援の不足・無理解など
- ④ 自己責任論、性に対する忌避感や嫌悪感、障害者への差別意識

そのため・・・

- × **性的欲求や性的問題行動**
そのものだけに着目
- **本人と信頼し合える人間関係、**
本人が安心できる生活環境を
整える

人間関係と生活環境

性とは「生活」である！

⇒障がい児者の場合、生活上の
困難が性的な困難につながることが多い。

理解のためのポイント④

「障がい者の性」問題は、実は

（ ）の性 の問題である！

理解のためのポイント④

「障がい者の性」問題は、実は

支援者の性 の問題である！

(保護者、職員、ボランティア等)

支援者側の性的貧困

支援者側に、性に対する知識や理解、
免疫が無いために、何でもない行為が
「問題化」されてしまう。

⇒障がい者の性は、支援者自身の性を
映し出す **「鏡」**

支援者側の孤立

性に関する問題は、共有しづらい！
結果として、丸抱えした支援者や
保護者もまた、孤立してしまいがち

⇒本当にサポートや教育が
必要なのは、本人ではなく支援者側！

厚労省障害福祉課への政策提言



提言①：

射精と生理介助の制度化

提言②：

障がい者の最低限度の
性の健康と権利の保障

⇒性に対する**合理的配慮**！

障害者権利条約（2014年批准）

第二十三条

1 (b) 障害者が子の数及び出産の間隔を自由かつ責任をもって決定する権利を認められ、また、**障害者が生殖及び家族計画について年齢に適した情報及び教育を享受する権利を認められること。**
さらに、障害者がこれらの権利を行使することを可能とするために必要な手段を提供されること

社会的議論を深めるために



「性に対する合理的配慮」とは何かを考える上での叩き台として、ガイドラインの作成・普及が必要。

これからのビジョン

愛される障がい者から
愛する障がい者へ

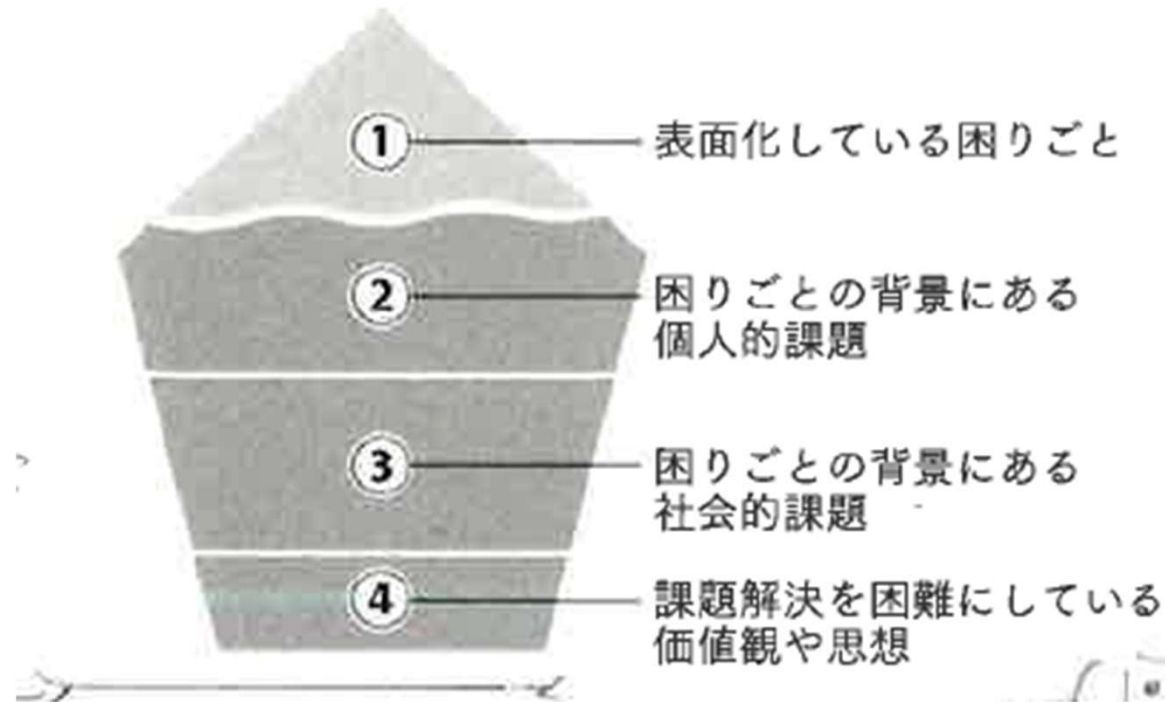
そのために支援の現場で必要なのは・・・

1. 性に対する**合理的配慮**の徹底
2. **不当な差別的取り扱い**の禁止

本日のまとめ

1. 障がいのある子ども性の性 = **社会**の問題
2. 性的自立が**社会的自立**につながる
3. 性 = **生活**の中で考えるべき問題
4. 支援者自身が性と向き合う

障害児者の性・冰山モデル



- ① 性器いじり、脱衣、自慰行為、性的逸脱行動など
- ② 生活習慣や対人関係の作法が身につけていない、親子関係、二次障害など
- ③ 知識や作法を学ぶ場がない、発達障害者への社会的支援の不足・無理解など
- ④ 自己責任論、性に対する忌避感や嫌悪感、障害者への差別意識